経営比較分析表（令和4年度決算）

栃木県　宇都宮市

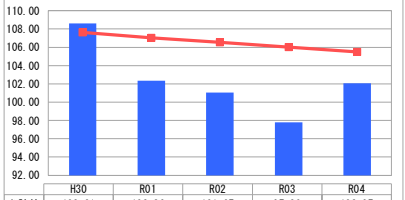
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	自治体職員
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	76.52	84.70	65.19	2,695

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
517,497	416.85	1,241.45
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
436,944	80.74	5,411.74

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

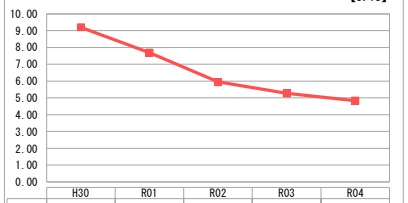
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【106.11】



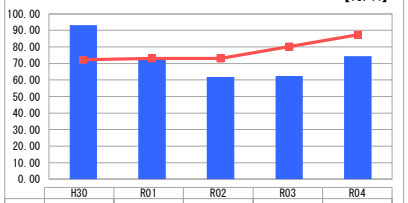
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	108.61	102.36	101.07	97.80	102.07
平均値	107.64	107.03	106.55	106.01	105.50

②累積欠損金比率(%)　【3.15】



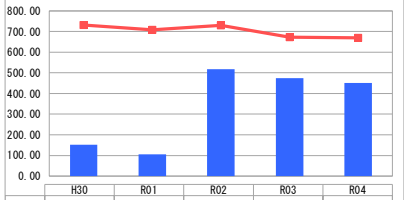
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	9.20	7.69	5.95	5.27	4.83

③流動比率(%)　【73.44】



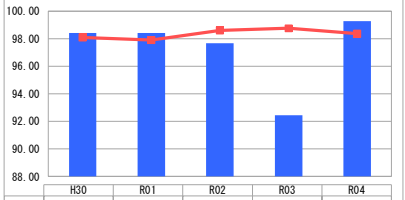
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	93.22	73.44	61.70	62.30	74.24
平均値	72.22	73.02	72.93	80.08	87.33

④企業債残高対事業規模比率(%)　【652.82】



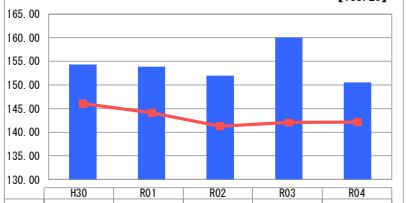
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	151.72	106.62	517.98	473.54	450.18
平均値	730.93	708.89	730.52	672.33	668.80

⑤経費回収率(%)　【97.61】



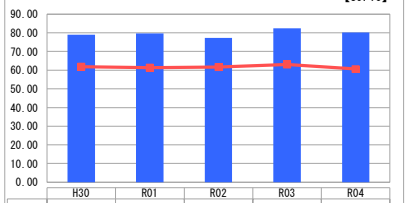
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	98.41	98.40	97.67	92.45	99.28
平均値	98.09	97.91	98.61	98.75	98.36

⑥汚水処理原価(円)　【138.29】



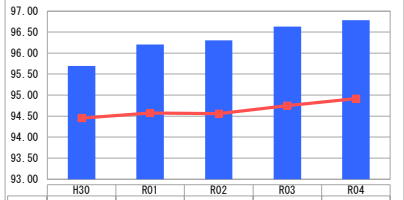
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	154.30	153.90	151.98	160.03	150.53
平均値	146.08	144.11	141.24	142.03	142.11

⑦施設利用率(%)　【59.10】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	79.00	79.69	77.24	82.50	80.16
平均値	61.93	61.32	61.70	63.04	60.55

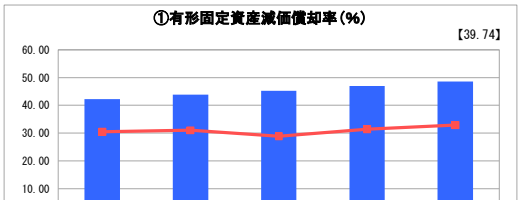
⑧水洗化率(%)　【95.82】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	95.69	96.20	96.30	96.63	96.78
平均値	94.45	94.58	94.56	94.75	94.92

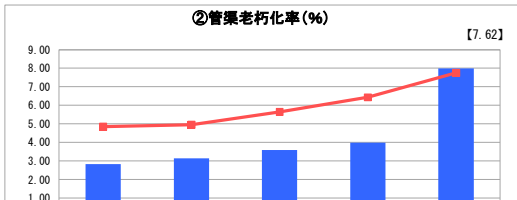
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【39.74】



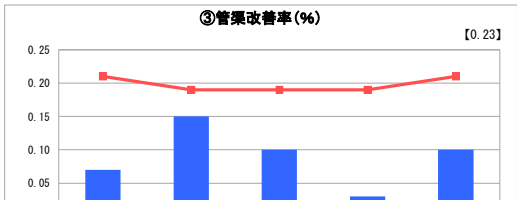
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	42.21	43.89	45.28	46.94	48.52
平均値	30.45	31.01	28.87	31.34	32.91

②管渠老朽化率(%)　【7.62】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	2.83	3.14	3.58	3.98	7.99
平均値	4.85	4.95	5.64	6.43	7.75

③管渠改善率(%)　【0.23】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	0.07	0.15	0.10	0.03	0.10
平均値	0.21	0.19	0.19	0.19	0.21

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は，Ｒ４年度は増加し，概ね100%を上回っており，処理に係る費用を経常的な収益で賄えている状況にあるが，減少傾向にある。
「③流動比率」は，翌年度当初の支払に備えるため，主に現金預金が増加し前年度比で増加したが，引き続き100%を下回っている状況にある。
「④企業債残高対事業規模比率」は，企業債の計画的な抑制を図ってきたことにより，減少傾向にある。
「⑤経費回収率」は，100%を下回って推移しているものの，令和4年度は，有収水量の増加に伴う「⑥汚水処理原価」の減少に伴い，前年度比で増加した。
「⑦施設利用率」は，ほぼ横ばいで推移しており，「⑧水洗化率」は計画的な管渠の整備及び普及促進活動により，年々上昇傾向にある。
類似団体と比較すると，「①経常収支比率」や「③流動比率」が低くなっているものの，「④企業債残高対事業規模比率」や「⑤経費回収率」「⑦施設利用率」については，良好な数値となっていることから，相対的に効率的な経営が図られている。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」「②管渠老朽化率」は，老朽化の進行により，上昇傾向にある。
「③管渠改善率」については，令和４年度は対象事業の増加に伴い，前年度より高くなったが，事業の進捗により増減して推移している。
類似団体と比較すると，「①有形固定資産減価償却率」「②管渠老朽化率」において類似団体より高くなっており，老朽化が進行している。

全体総括

類似都市に比べ効率的な経営が図られているが，老朽化が進行しており，今後，点検・調査結果を踏まえ，着実かつ計画的に更新工事などを進めるとともに，公共下水道事業を円滑に進めていくためには，資金需要などに対応できる経営基盤を確立していく必要がある。
そのため，ＤＸの推進や施設の効率的な維持管理など，汚水・雨水の処理費用の更なる抑制に取り組むとともに，経常収益の適切な確保に努めることで，経営の健全化・効率化を図っていく。